

寿印刷工業株式会社

WEBマガジンOTONAMIE

NEW MEDIA MIX FOR RECRUITMENT



みえのしごと

...

想いをつたえる

あたらしい求人のかたち

お問い合わせ・申し込み



☎ 059-268-3538

✉ otonamie@gmail.com



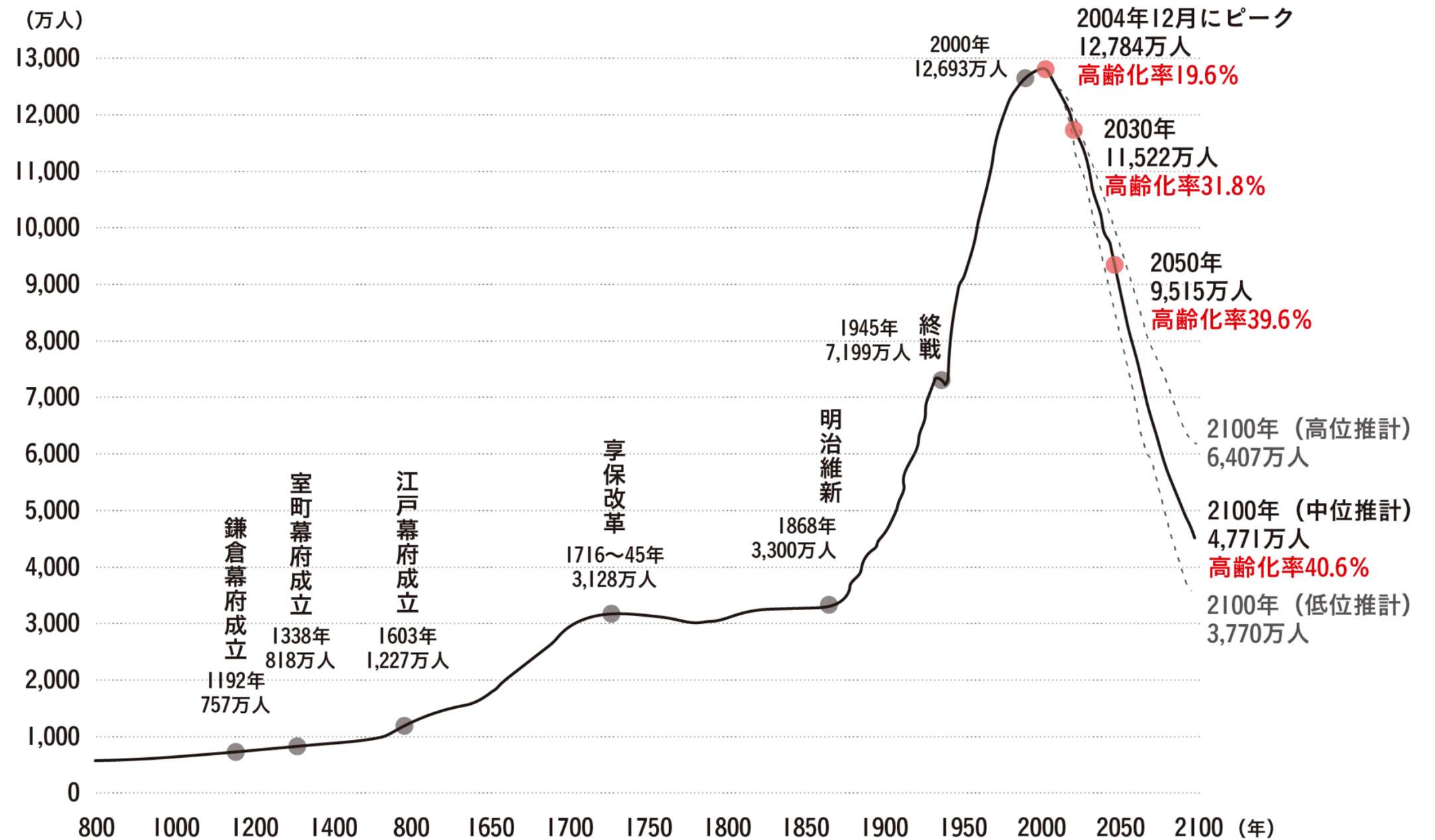
<https://kotobuki-mie.co.jp>
<https://otonamie.jp>

目次

- 01 - 日本における総人口の長期的推移**
- 02 - 特徴**
- 03 - OTONAMIE概要**
- 04 - 媒体のメリット・デメリット**
- 05 - メディアミックスによる
効果的な訴求方法**
- 06 - 成功事例：三ツ知製作所様**
- 07 - 実施の流れ**
- 08 - 料金プラン例**
- 09 - メッセージ**
- 10 - 会社概要**

日本における総人口の長期的推移

日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後期）の水準に戻っていきます。この変化は千年単位でも類を見ない、極めて急激な減少です。



出典：「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要（平成23年2月21日国土審議会制作部会長期展望委員会） 図：OTONAMAIE

特徴

企業の風土や想いを伝える 共感を軸とした、 あたらしい求人のかたち。

人口減少が進むなか、地元の方や移住者などの働き手確保することは、地域経済の発展や人口流出の減少など、地方創生につながります。求職者に企業の風土や想いを丁寧につむぎ、共感を生む記事として伝えることで採用につなげるとともに企業のブランディング効果も高めます。



OTONAMIE概要

民間発の地方創生 ローカルWEBメディア

2015年に本始動した「三重に暮らす・旅するWEBマガジンOTONAMIE※1」は、約230名の県内外の市民記者が登録。その地に暮らしているからこそ感じる魅力を記事として発信。県内の民間WEBメディアでは最多のフォロワー数※2を持つ公式SNSで記事をシェアして拡散しています。また強みであるクリエイティブや地域とのリレーションを活かし、行政や企業から記事の企画や作成、地方創生に関する事業を受託しています。

※1 月間平均WEB表示回数 約500,000回

※2 自社調べ



実績一例

- 移住者と地域をつなぐ人づくり講座企画運営事業「Local School Field Mie」(三重県)
- オンラインとリアルで三重の人や暮らしとつながるコミュニティ「日々三重」(三重県)
- 太平洋・島サミットSNS情報発信業務(三重県)
- 食のストーリー掘り起こし業務「三重の食結び」(三重県)
- 「つづきは三重で」コンテンツ作成業務(三重県)
- タイアップ記事作成業務(南伊勢町)
- タイアップ記事作成業務(松阪市)
- 学生と連携した津市中心市街地活性化事業(まちづくり会社津夢時風)
- 「BUS toronomie JAPAN」プロモーション(クラブツーリズム)
- 季刊紙「志摩時間」(志摩観光ホテル)
- タイアップ記事作成業務(百五銀行)、他



三重に暮らす・旅する
WEBマガジンOTONAMIE



媒体のメリット・デメリット

媒体	メリット	デメリット
WEBマガジンOTONAMIE	記事を企画作成することで読者の共感を得ることができる。	主に県内向け。
OTONAMIE公式SNS（広告）	記事をシェアして、県内外にエリアや年齢層を絞り情報を届けることができる。	読み物として機能しづらい。
タブロイド版	読みやすくスタイリッシュな世界観を醸成することができる。紙媒体はターゲットが決まっている場合、強い。	読者に届けるための配布方法など工夫が必要。
新聞広告	新聞メディア自体に信用がある。	掲載できる情報量が限られている。 主に県内向け。

メディアミックスによる効果的な訴求方法



企画や取材を行い作成した記事を掲載。またトップページの「みえのしごと」枠にてアイキャッチを常時掲載して読者を記事に誘導。

各公式SNSにて記事をシェアして拡散。また有料投稿も行い、エリアや年齢層を絞って広告も行いターゲットに記事が届ける。

OTONAMIEに掲載したWEB記事の転載、企業や求人の詳細なども掲載。ポスティングや新聞折込、手配りなどでターゲットに届ける。

▶ オプション

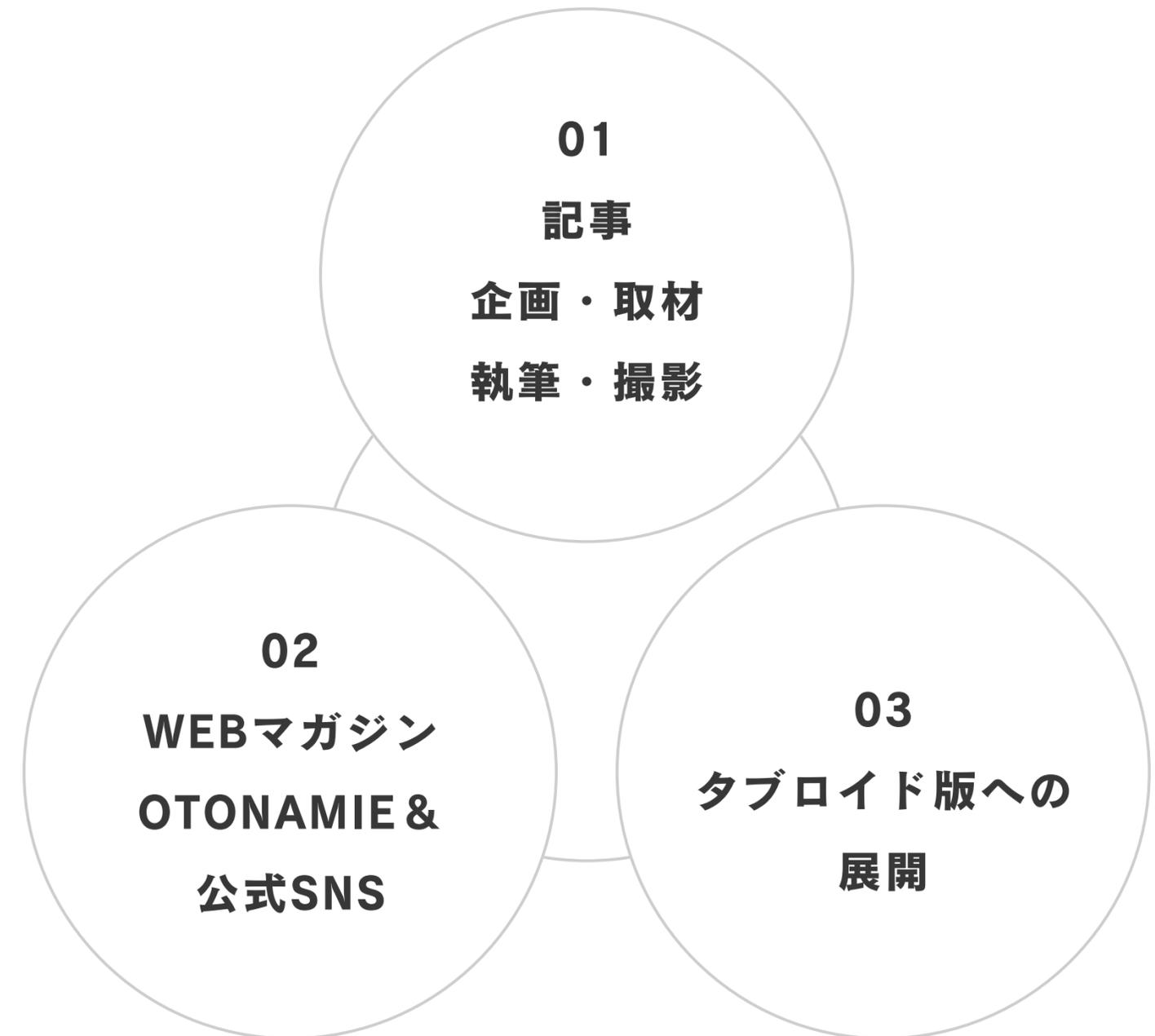
04 新聞広告

新聞では記事全文を掲載することが難しいので広告枠を使い、QRコード等でWEBマガジンOTONAMIEの記事に誘導する。またタブロイド版の設置場所なども掲載する。

成功事例：三ツ知製作所様（松阪市飯高町）

**地元採用に成功。
さらにシビックプライドの
醸成にも貢献。**

記事の企画段階からアンケート調査や会議を重ね、取材した記事をWEBマガジンOTONAMIEに掲載し、公式SNSで拡散。さらにタブロイド版も制作し、新聞折込にて地域に全戸配布。
心のこもった求人活動で3名の地元採用に成功するとともに、地域の方々のシビックプライドの醸成にも貢献し、地方創生に取り組む企業としてブランド価値向上も実現。



成功事例：三ツ知製作所様（松阪市飯高町）

田舎だから働き手が集まらない・・・ を、逆転の発想で課題を解決。

人口約5000人の山合いの小さな町・飯高町。この地が創業の地である三ツ知製作所様は全国に工場を展開し、世界に向けて自動車部品を製造して輸出を行っている。

今まで大手求人サイトなどを活用していたが、立地が田舎のため最終の現地面接で辞退されることもあった。また過疎化が進む町にとって「地域内の雇用は地元を元気にする基礎」と採用活動を位置づけて展開。

ターゲットを地元への想いのあるUターン移住者や地元暮らしに暮らす人に絞り込み、地元採用に成功。



成功事例：三ツ知製作所様（松阪市飯高町）

時代やターゲットに合わせた、メディアのかけ算。



クリエイティブチーム

プロのディレクター、ライター、カメラマンがチームになり取り組み、クオリティにこだわることで訴求力の高い記事を作成。



都市圏への発進

作成した記事をOTONAMIE公式SNSでシェア。有料投稿は名古屋、大阪、東京などの都市圏にも広告を行い地元出身者の共感を獲得。



地域内への発進と共感の獲得

Uターン移住の可能性がある方の帰省のタイミングを狙い、年末に新聞折込にて地域の全戸に配布。また地元の飲食店や商店などにも設置。



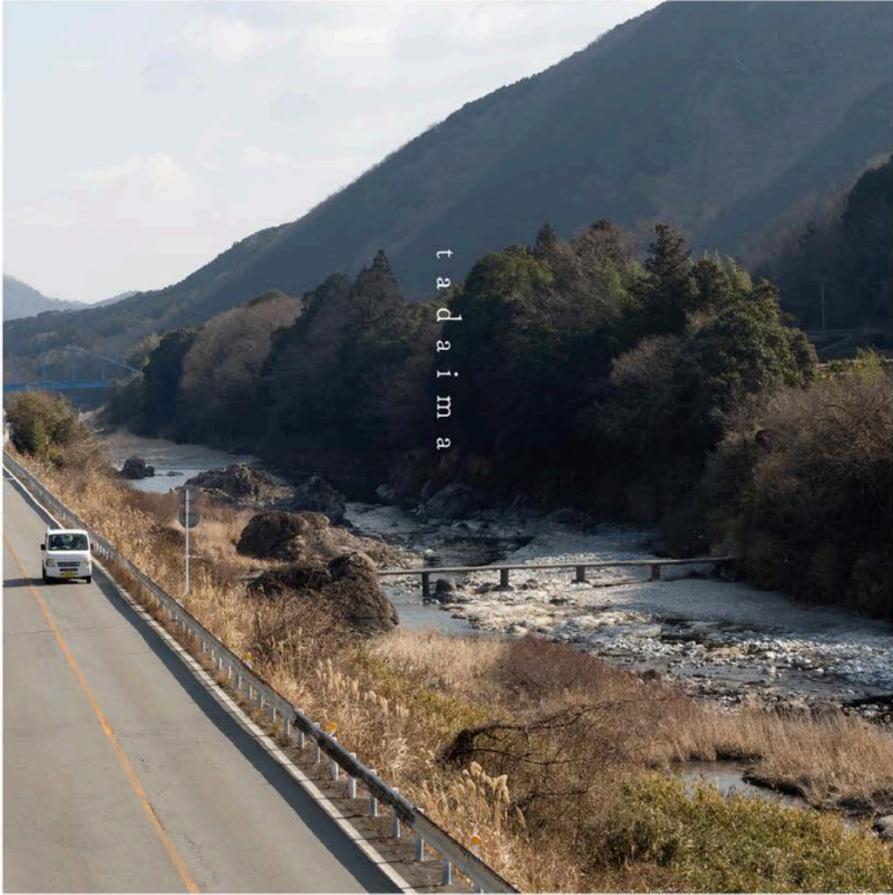
記事：「ただいま～私のまち」松阪市飯南・飯高地域のあの日に戻る旅

otonamie ただいま



成功事例：三ツ知製作所様（松阪市飯高町）





t a d a i m a

三ツ知製作所
×
OTONAMIE

表紙

人材募集中

地元の方、Uターンしたい方へ。地元で働きませんか？
私たちは共に働く仲間を募集しています。

はじめまして、株式会社三ツ知製作所です。
三ツ知グループは国内10ヶ所に拠点をもち、更には中国、アメリカ、タイにグループ会社を設立しています。
三ツ知製作所の製品の多くは世界に向けて輸出しています。
国内や海外出張もあり、自然環境に恵まれた田舎で暮らしながらグローバルな視点で仕事ができるのも魅力のひとつと感じています。
緑豊かなこの町から、世界に通用するモノづくりをできることが私たちの誇りです。

弊社は1971年の創業から「冷間鍛造（れいかんたんそう）」をコア技術とし、シート部品・エンジン部品・ブレーキ部品といった自動車関連部品を製造して大手自動車メーカーに納入しています。
「冷間鍛造」とは、素材となる鉄に熱を加えることなく、常温のまま圧力を加え加工する技術です。
加工時に出る廃棄物がとても少なく、エコで地球にやさしいSDGsの時代にふさわしい技術です。

0.01mm単位の精度が求められるモノづくりは、世界に誇る日本の職人技。
それは先人や現役社員の地まね挑戦が築き上げてきた賜物です。
大人数の大企業とは違い、全員が顔を合わせて声をかけあえる少数精鋭の職場環境です。

詳しくはお電話、採用ページ、ホームページからお気軽にお問い合わせください。
最後までお読みいただきありがとうございます。




募集内容

正社員

職種：生産管理、品質管理、機械オペレーター
資格：普通自動車運転免許 必須
月給：基本 185,000円～248,900円（キャリアや実績により応相談）
就業時間：8時30分～17時30分 17時30分～2時30分
休日：年間休日119日 週休2日制会社カレンダーによる（年末年始、GW、夏期休暇）
待遇：社会保険完備 通勤手当 退職金制度 福利厚生

契約社員

職種：検査課
資格：普通自動車運転免許 必須
時給：975円～
就業時間：8時30分～17時30分（時間、曜日は相談に応じます）
休日：年間休日119日 週休2日制会社カレンダーによる（年末年始、GW、夏期休暇）
待遇：社会保険完備 通勤手当 福利厚生



採用条件等の詳細はこちら

募集方法

まずはお気軽にお電話ください
0598-32-2200（担当：堀出）

採用お問い合わせメールフォームでも受け付けています
<https://x.gd/11Kk>



メールフォーム

企業概要

株式会社三ツ知製作所

1971年、カスタムファスナーの製造を目的として、三重県松阪市飯高町に株式会社三ツ知製作所を設立。1984年、株式会社三ツ知製作所の本社を三重県松阪市飯高町に移転、本社工場を新設。創業より、飯高・飯高地域での製造にこだわり、現在も地元から世界に向けて製造を行っています。



〒515-1412
三重県松阪市飯高町
内郷見159-3

三ツ知製作所 

<http://www.sanmichi.co.jp> ホームページ

地域内の雇用は地元を元気にする基礎

弊社のある飯高・飯高地域は、少子化や若者の都市部への流出により、過疎化が進んでいる地域です。
弊社が創業より大切にしてきた地元の方の採用が、将来的に厳しくなっていくと考えています。
人口減少が進む時代のなか、今までの採用活動をいちから見直し、地元である飯高町・飯高町の魅力を発信することで少しでも興味を持っていただければと考え、今回の記事は持続的に地元の魅力の発信を行う一環としてスタートしました。

裏表紙

13

成功事例：三ツ知製作所様（松阪市飯高町）



t a d a i m a

「ただいま～私のまち」松阪市飯南・飯高地域のあの日に帰る旅

よくある日常の風景。
 いつの間にか玄関に、採れたての野菜が置いてある。
 時には洗濯物が取り込んであることも。
 「雨降ってきたで洗濯もん入れといたよー」「味ご飯いっぱい作ったんさ、食べる?」
 玄関から近所のおばさんの声が聞こえてくる。
 まだ温かい味ご飯を受けとると、心がじんわり温かくなった。

文・orange (あまご)
 写真・松原 豊



覚えていますか?このまちのこと
 人情味溢れるまち三重県松阪市飯南町・飯高町は、市の西部に位置し、千メートル級の山々が連なる自然豊かな山国だ。
 小正月に棚田川沿いの国道166号線を走れば、一年の無病息災を願って、しめ縄など正月飾りを焼く伝統行事「どんど火」を数か所で見ることが出来る。



朝食はトミヤパン
 朝食はトミヤパンの、丸くてくんと巻いた形をした「変形パン」、一番人気はやっぱり揚げパンだった。コロケパンと瓶ジュースを買いにお店に行く、白衣を着たおじいちゃんが焼き立てのパンを差し出してくれた。



下校中に山や谷へ、ちょっと寄り道
 山では花の蜜を吸い、山いちごを摘んだ。棚田川で水切り、谷ではイモリやサワガニを捕まえた。『おかえりー!』近所の人の声、「ただいまー」と私。「そうや、これ持ってきな」と、差し出された野菜を抱えて下校することも。野菜はまだ、湿った土の匂いがした。



積極的に地域活動を行っている飯南高校
 飯南高校では、1学年は約3年間通って飯南・飯高地域のことを知るフィールドワークを行っている。2学年で企業見学会、インターンシップに参加し、3学年では、自らの興味・関心から研究テーマを自由に設定し、1年を通してそのテーマを調査・研究・作品制作・発表をする「いなげぞい」が行われている。



茶畑と山のある暮らし
 霜から新芽を守るファンが回る音、明け方、ブーンとその音が聞こえて目覚める時、今年も新茶のシーズンがやってのけるのだなと感ずる。初夏のこのまちは、どこかぐだなくして洗気がある。茶摘み機のエンジン音、音殺のんびりと走っている軽トラックが、茶葉を乗せて慌ただしく走っていく。フル稼働する茶工場からは、蒸した茶葉のいい香り。そして、急須で淹れて飲む新茶は、初夏の茶畑の香りがぎゅうと詰まった、青々とした爽やかな味がする。



小さい頃から変わらない、お店や人
 小学校のすぐそばにある福山商店。お菓子を買いに、立ち寄る子供達の姿、「昔、小学生やった子が今度は親になって、運動会の帰りに寄ってくることもあるよ」そう言って笑う店主の京子さんの容姿は、私が小学生の頃からあまり変わっていない。お店の行まわりもそのまま。変わったのは、アイスクリームの入ったショーケースくらいだ。「冷凍庫壊れたんさ。もう家にあるやつでええかなと思って(笑)」



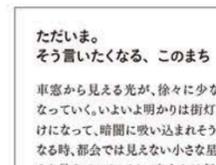
水辺のカーニバルと、飯南音頭
 リバーサイド茶会で行われていた夏祭り「水辺のカーニバル」。自分なりにお洒落をして、友達と自転車で行った。「いかだコンテスト」では、大人が本気で楽しむ姿を見るのが好きだった。夏祭りの定番といえば「飯南音頭」、飯高町なら「飯高祭文」。子供からお年寄りまで参加する盆踊りなので、音楽が流れたら今でも踊れる自信がある。私たちの体にすっかり染み付いている、この地域のソウルダンスだ。



運動会や子供会の後は、焼肉屋へ
 昔ながらの大家族。白い横長のガスコンロの上で、煙をあげるホルモン。一気に食欲が湧いてくる。運動会や子供会後の定番は、まちの焼肉屋だった。「来年こそは、一位をとっていいところ見せたいな」そんな思いを胸に秘めながら、みんなでワイワイ食べる焼肉は、何よりのご馳走だった。



国道166号線から見える、局ヶ岳
 子供の頃、お弁当を持って登った山。局ヶ岳のことを誰か「だけさん」と呼び始めたのだらう。愛情のあるものには愛称をつけたいくなる人間の真理。地元民の愛を感じる、我らのホームマウンテン、局ヶ岳。



ただいま。
 そう言いたくなる、このまち
 車窓から見える光が、徐々に少なくなっていく。いよいよ明かりは街灯だけになって、暗闇に吸い込まれそうになる時、都会では見えない小さな星さえも見えていることに、あなたは気づくだろう。動物の飛び出しにはご注意ください。鹿で車を廃車にした人が、知り合いにひとりはいらるはず。山道を縫うように車を走らせ、懐かしい我が家へ。「ただいま～私のまち」



o k a e r i

豊かな暮らしを想像すると
 そこに故郷の風景を思い出す。
 おとなになった今だから感じる
 地元のよさがある。



記事は株式会社三ツ知製作所とのタイアップにより、三重に暮らす・旅するWEBマガジンOTONAMIEとともに企画・制作しました。

三ツ知 OTONAMIE



中面

成功事例：三ツ知製作所様（松阪市飯高町）

効果



移住して地域を想う企業があることを知り、求人募集して採用が決まった。



暮らしている地域の魅力が丁寧に綴られていて、読んで地元が好きになる気持ちが高まった。



自分の出身地だが今は違う地域に暮らしていて、離れていても地元を応援したい気持ちになりSNSでシェアした。



懐かしさを感じるエモーショナルな切り口で、地域の魅力を自分も見つけたくなった。

実施の流れ

01



企画・提案

ヒアリングを行い、魅力や課題の抽出、アンケート調査などを元に記事の企画書を作成します。

02



取材・執筆

ディレクター、ライター、カメラマンが取材を行います。また撮影した写真等の二次利用も可能です。

03



公開・拡散

WEBマガジンOTONAMIEにて記事を公開し、公式SNSで拡散します。有料投稿ではターゲットを絞り広告します。

04



タブロイド版

デザイナーがタブロイド版に記事の転載等を編集します。またタブロイド版の配布方法についてもご提案します。

実施後はWEB記事やSNS投稿のアクセス等の解析結果をお伝えさせていただくとともにタブロイド版の効果などもヒアリングさせていただき、フォローアップも行います。

料金プラン例（価格はすべて税別です）

OTONAMIE、公式SNS

¥200,000～

- 記事企画、執筆、写真撮影
- OTONAMIEに掲載
- 公式SNSでシェア（有料投稿分10,000円分付）

OTONAMIE、公式SNS

タブロイド版

¥400,000～

- 記事企画、執筆、写真撮影
- OTONAMIEに掲載
- 公式SNSでシェア（有料投稿分10,000円分付）
- タブロイド版印刷、デザイン（参考部数10,000部）

OTONAMIE、公式SNS

タブロイド版、新聞広告

¥要相談

- 記事企画、執筆、写真撮影
- OTONAMIEに掲載
- 公式SNSでシェア（有料投稿分10,000円分付）
- タブロイド版印刷、デザイン（10,000部）
- 中日新聞三重版

メッセージ

まず先に想いを伝える時代へ

人口減少が進むなか、多くの業界で人手不足が課題となっています。それは地方ほど深刻であり、従来の求人活動だけでは補えない部分も出てきたと感じています。

三重県内各地を巡り、取材や人とのコミュニケーションを重ね、今の時代に必要な情報発信の方法を追求してきました。

積み重ねた経験が皆様の求人活動のお役に立てることを願っています。

WEBマガジンOTONAMIE代表 村山祐介

会社概要

会社名	寿印刷工業株式会社
所在地	〒514-2313 三重県津市安濃町今徳1349
電話番号	059-268-3538
メールアドレス	otonamie@gmail.com
ウェブサイト	https://kotobuki-mie.co.jp

寿印刷工業株式会社



寿印刷工業

WEBマガジンOTONAMIE



otonamie

お問い合わせ・申し込み



059-268-3538

(営業時間 平日9:00~17:30)

✉ otonamie@gmail.com